

城取博幸の

東京 三菱岩崎邸と庭園

N0145

2021年11月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

岩崎彌太郎生家と三菱一号館

「青天を衝け」の「渋沢栄一と岩崎彌太郎」

「官は賄賂を以て成り」

130年経った現在でも賄賂(わいろ)問題が絶えない

「個人企業」と「合本(株式会社)」の対立で、岩崎彌太郎が悪役扱いになってしまった

三菱商会は日本の発展のために十分貢献した



岩崎家の研究

岩崎彌太郎生家(2019年9月訪問) 彌太郎は下級武士の出身



客用玄関(中央)と家族用玄関(左)が分かれている

説明書



彌太郎がつくった石の日本地図
生家側に向けてつくられている

後に「世界の港に三菱の船をつける」という野心を持つことになる



三菱のマーク

壁が汚れないよう四国独特の恒をつけた白壁
由来

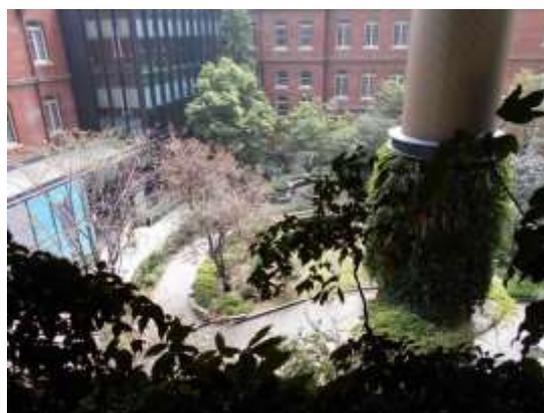


三菱一号館(2019年7月訪問)

三菱の歴史資料と当時の建物を再現(東京駅から歩いてすぐ)



都会のど真ん中にこんなスペースが



奥に見えるのが三菱一号館

三菱一号館美術館と歴史資料室



歴史資料室入口

この銅像は



建築家「ジョサイア・コンドル(1852年～1920年)」

英国人建築家にして、「日本近代建築の父」と言われている

特に岩崎家との関係が深く、深川別邸、三菱一号館、二号館、茅場本邸、弥之助高輪本邸などを手掛けた

展示物

当時の事務所を再現 壁は漆喰(しっくい)



右奥は三菱の制服

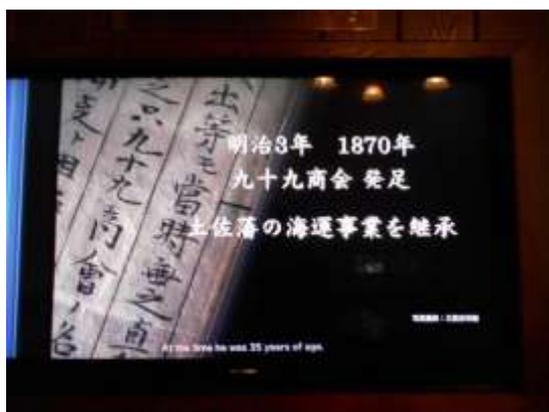
当時の旧三菱一号館レプリカ



三菱一号館復元工事の記録

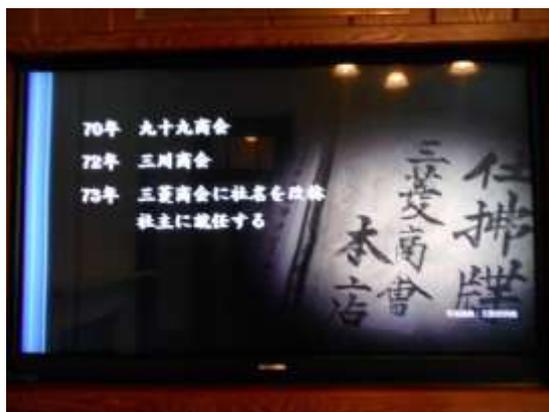
三菱の歴史

1870年、土佐藩の海運事業を継承



1871年、廃藩置県

1873年、三菱商会に改称



三菱4代社長 ()内は在任期間

三菱創業者初代社長「岩崎彌太郎(1870年～1885年)」、二代目社長「彌之助(1885年～1893年)彌太郎の弟」

三代目社長「久彌(1894年～1916年彌太郎の子)」 四代目「小彌太(1916年～1945年彌之助の子)」

「彦彌太(久彌の子)」 世襲制であったが戦後財閥解体で実現しなかった

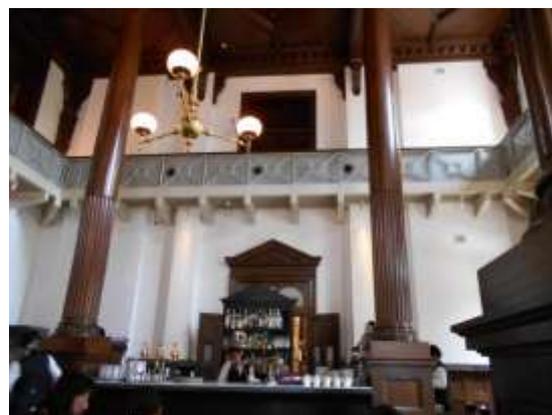
この入口は



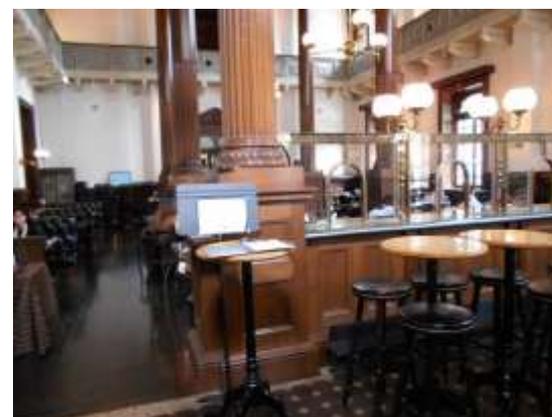
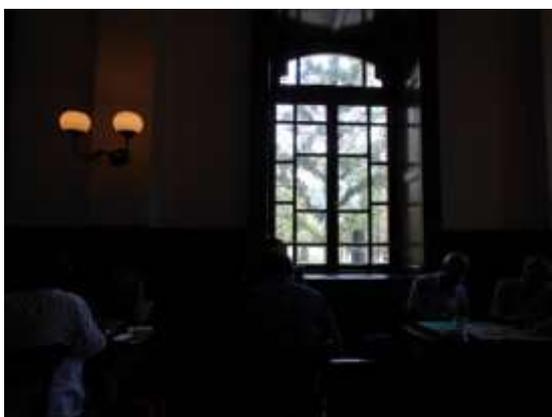
CAFE 1894

三菱銀行を再現

手前はカウンター、奥は金庫



高い柱と中二階 外の景色



カフェ入口 ランチメニュー



1894 年が印刷されているコースター
三菱一号館完成年か
ワタリガニの Pasta



ワタリガニが丸ごと
グリーンサラダ



デザートとコーヒー ケーキとジェラート

岩崎家本邸・別邸が今も残されている



かつて岩崎家が所有していた建物と庭園
この機会に全部回ろうと思っている

上野駅から旧岩崎邸に向かう



上野恩賜(おんし)公園
 ここはまたゆっくり回りたい
 不忍池を通り



奥に見えるのは「不忍池辯天堂(べんてんどう)」
 家康は江戸城の鬼門にあたる上野大地に寺を建てて鎮護した
 不忍池と蓮



旧岩崎邸庭園の看板

森鷗外の「雁」にも登場する赤煉瓦の塀



案内図 こんな道を歩く



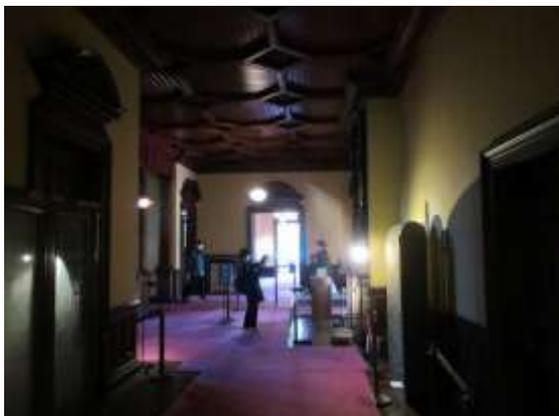
旧岩崎邸

ジョサイヤ・コンドル設計

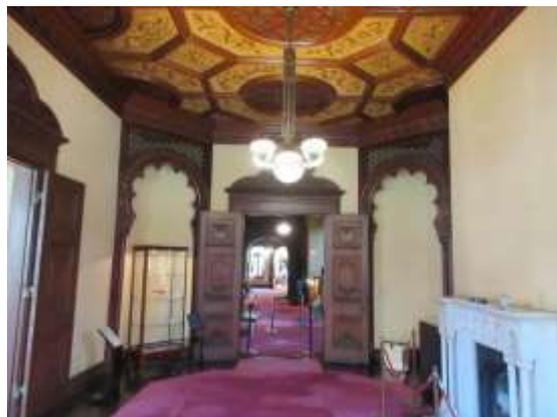
旧岩崎邸庭園の洋館は、1896年三代目社長「岩崎久彌」の本邸として施工された
主にゲストハウスとして使われた贅を尽くした建物 個人の住宅としては最高傑作だと思う



イギリス 17 世紀初頭のジャコビアン様式を基調としている



説明文 館内レイアウト



夫人客室天井

シルクの日本刺繍が施された布張り天井
暖炉



スチーム暖房機

都市ガスを熱源にしたボイラーが設置されて、スチーム暖房が全館に配置されている
ゴシック様式の重みのある階段



飾り柱 大理石の暖炉



大食堂

テラスに出られるようになっている 上下が独立して開閉する扉
厨房は見ることはできなかった



扉に着いたノッカーは調理場に合図を送るため
説明文



一階のテラス

草花をモチーフにしたエキゾチックなタイル



説明文
ジオラマ



コンドル作品

三代目社長岩崎久彌



金唐革紙の壁紙 壁紙を見るだけでも楽しい
当時の復元



金唐紙は、和紙に金属箔を貼り版木に当てて凹凸を出す日本の技術
全て手作りで制作する高級壁紙

ぶどうをモチーフ



版木ロール



両国江戸資料館所蔵の「金唐革の煙草入れ」実物

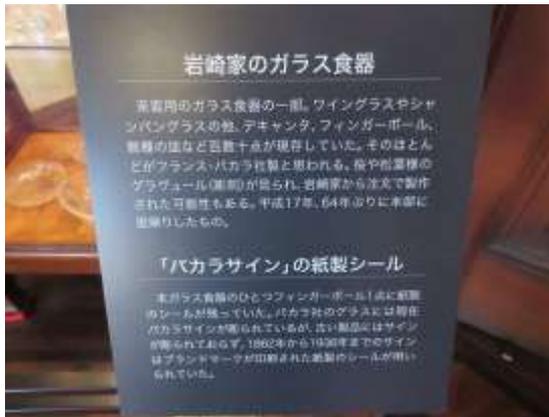


これもぶどうのモチーフ

岩崎家のガラス食器



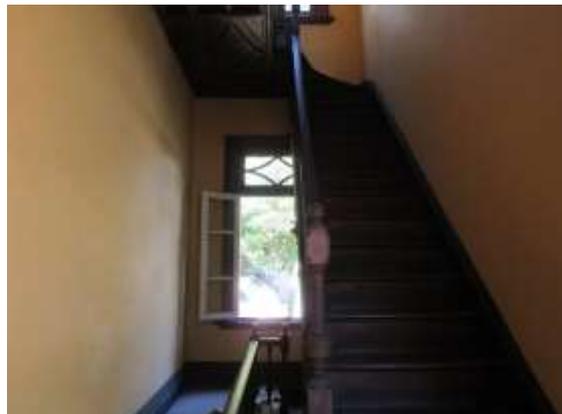
殆どがフランスバカラ社のもの



2階テラス



庭園は造園中 発掘調査も



地下に下る階段 地下には部屋や廊下があり、ビリヤード場に繋がっている 水洗トイレ



洗面台の陶器・便器にはドルトン(現ロイヤル・ドルトン)の銘が見える 便器をアップで写す人はあまりいない

説明文



和館の居住スペース

当時は何倍もの和館があったが空襲で焼けてしまった

和館西側からは富士山が見えたという

関東大震災時には 5000 人の難民を受け入れたという



船底天井の廊下

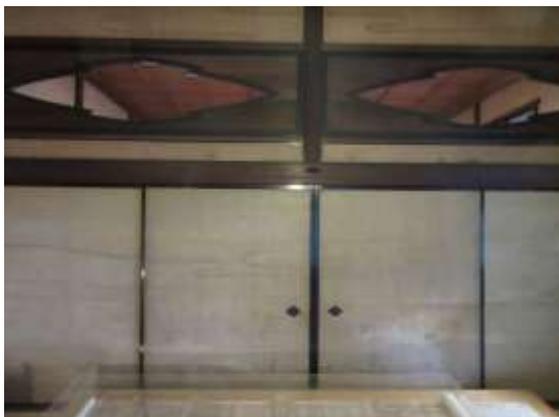
橋本雅邦の障壁画



広間

当時は 14 部屋もあったという 床の間の絵は殆ど見えない

欄間の菱紋



菱の意匠を用いた柱の釘隠し
細かい細工がされている
襖引手にも菱紋



説明文

和洋折衷式庭園

芝生の洋庭園の一部が和庭園

井戸も残っている



庭を見ながら抹茶を一服

季節の落雁 抹茶を5回口に含むことになる



土産物

季節限定の小岩井牧場のケーキ、落雁、抹茶をお土産で購入

正面(南向き)から見た旧岩崎邸



サンルームがある東向きの建物 豪華だ
ビリヤード場 本館から地下道で繋がっている



説明文 戦後はスパイ機関であった「キャノン機関」が使っていた



岩崎家の「三階菱紋」
旧岩崎邸を後にする
こんな植物も



パンフレット
都内に残る旧岩崎家別邸
「清澄庭園」「六義園」「殿ヶ谷戸庭園」「旧古河庭園(コンドル設計)」を歩
庭園歩きがしばらく続きます



下町風俗資料館
不忍池のすぐ隣



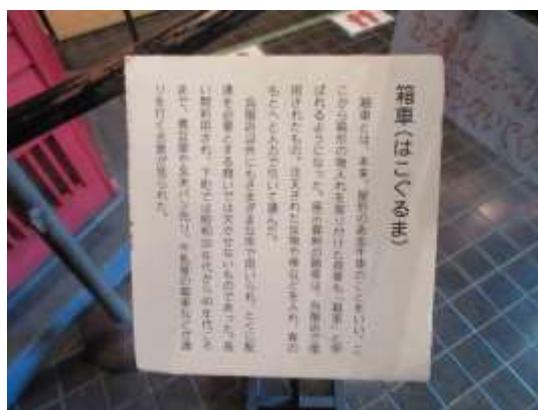
大正から昭和にかけての下町の風俗を展示

一階の展示室の自動電話



日本で初めて電話が設置されたのは 1900 年 9 月

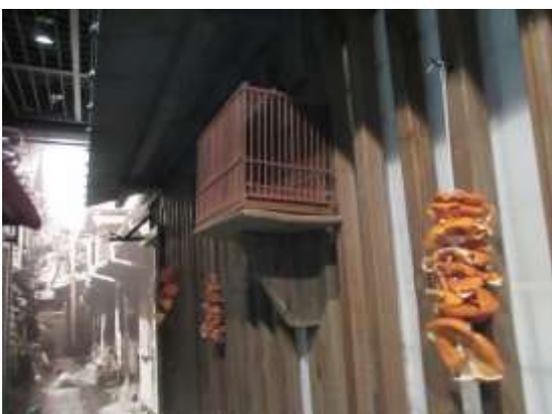
上野・新橋の駅構内に設置された
箱車



本来は屋形のある牛車のこと
展示品は呉服屋のもので、反物や帯などを客のもとへ届けた
昭和の路地
懐かしい風景



駄菓子屋
陳皮(ちんぴ) みかんの皮を干して、風邪薬や七味唐辛子などに使われた



布おむつ

二階の展示室



銭湯の番台

銭湯の始まりはお寺の蒸し風呂から
それで銭湯の建物はお寺のなごりがある
五右衛門風呂



銅製の風呂なので、沸きは早い
が底や周りが熱くなるのが難
火傷ないように板を踏んで湯罫に入る
昭和の家



足踏みミシンとテレビ

茶箆筒(たんす)の上にラジオ、左に黒電話

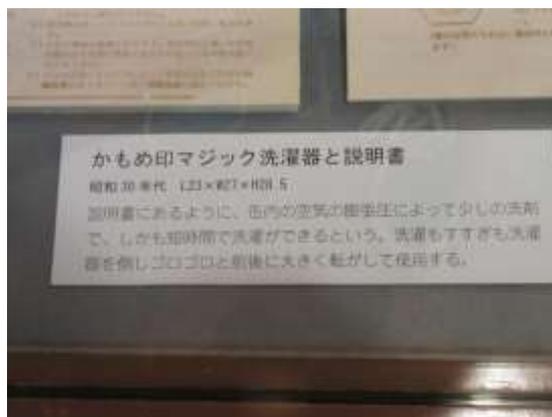


ガス釜、ガスコンロ、魔法瓶

展示品

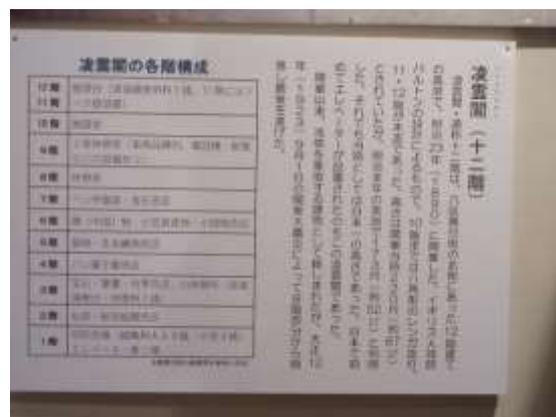


小型洗濯機



衣類と洗剤を入れてゴロゴロと前後に転がすもの
今でも使えるかも

凌雲閣



浅草六区興行街にあった12階建て(67m)の商業施設
 10階までが八角のレンガ造り、11階、12階が木造づくり
 関東大震災で倒壊
 上野公園博覧会

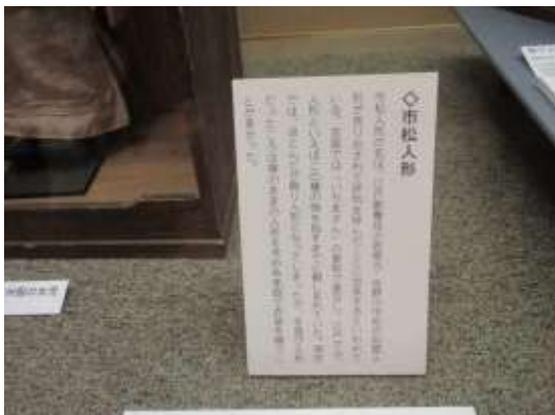


当時のパンフレット
 セルロイドの人形



市松人形
 日米友好のため、アメリカの人形が日本に贈られ、市松人形がアメリカに贈られた

しかし日米は戦争へと向かう

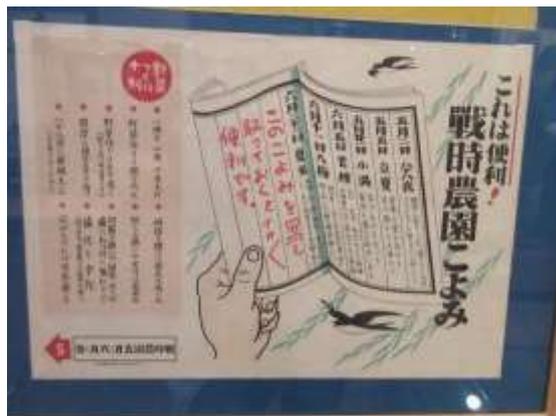


戦中

大東亜戦争時のポスター

「必勝食料 絶対確保」

野菜の育て方が書かれている 上杉鷹山の「かてももの」によく似ている

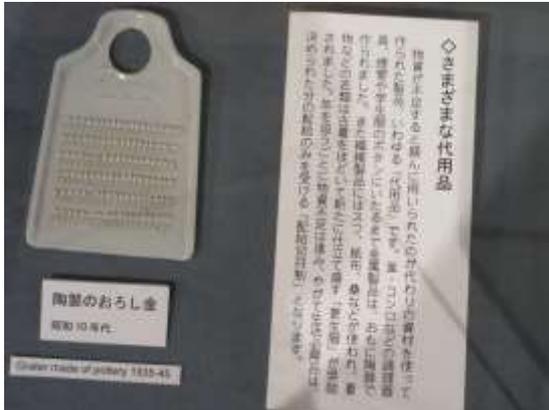


戦時農園こよみ

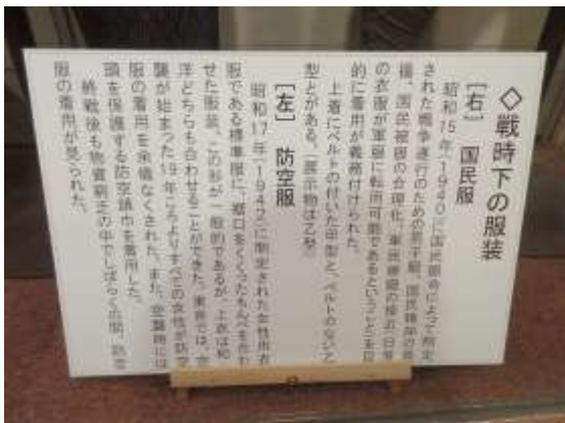
国をあげて食料確保



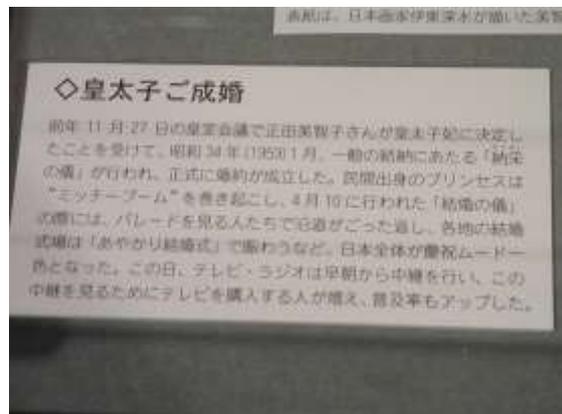
これは
代用品
金属が不足したため、陶器で代用した



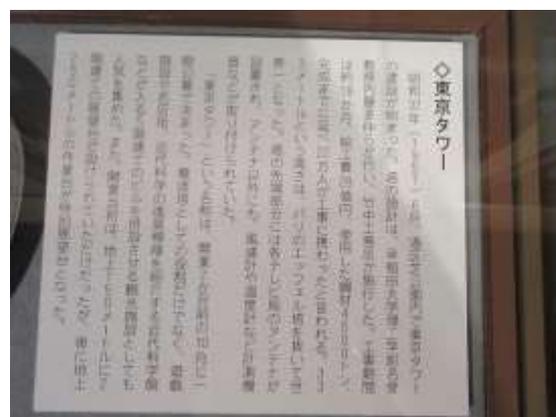
戦時下の服装
男性は、軍民被服が義務づけられた
女性は、もんぺ、防空頭巾を着用



戦後の明るい話題
皇太子ご成婚



昭和 34 年(1959 年)、正田美智子さんが皇太子妃に決定
「結婚の儀」のパレードでは沿道が人でごった返した
東京タワー



復興のシンボルとして、昭和 32 年(1957 年)、港区芝公園内で東京タワーの建設が始まった
高さ 333mはパリのエッフェル塔を抜いて世界一となった
2 階からの下り階段の江戸の職業



いろいろな職業があった



殆どが「個人事業主」

冬のツツジ



今回は岩崎家が所有していた「清澄公園」を紹介します

清澄庭園へ

地下鉄大江戸線、半蔵門線「清澄白河駅」A3 出口徒歩 3 分



清澄庭園(岩崎家深川別邸) ③

「回遊式林泉庭園」



岩崎彌太郎の大志と庭への憧憬

高知井ノ口の彌太郎生家の日本地図の石組は庭好きの彌太郎の志を表したもの
岩崎彌太郎伝によると

『わが心は溪山丘壑(けいざんきゅうがく)を愛す。
事業上憂悶(ゆうもん)を感じずる時は、立派な庭園を見に行く。
心気はたちまち爽快になり、鬱(うつ)を散ることができる
他に特別の趣味もないが、これが余の唯一の趣味である』
と書かれている

豪快に見える彌太郎も鬱であった



パンフレット

一説には江戸の豪商「紀伊国屋文左衛門」の屋敷跡と伝えられている
明治 11 年(1878 年)、岩崎彌太郎がこの宅地 3 万坪を取得
その後、弥彌助、久彌へと引き継がれた
関東大震災後、東京市



写真右上の2件の洋館はジョサイア・コンドルの設計
三菱の社員の憩いの場であったが、1923年の関東大震災で焼失
1945年3月の東京大空襲の時には避難場所として多くの命を救った

池の周りには全国から集められた名石を配置している
中央は山燈籠



池に移る紅葉
一枚の石が使われている



仙台石の石橋
自然がつくった石



備中御影石

亀の甲羅干し



池に映る銀杏(いちよう)

磯渡り

池の端に石を点々とおいて、歩けるようにしたもの
船を浮かべることもできた



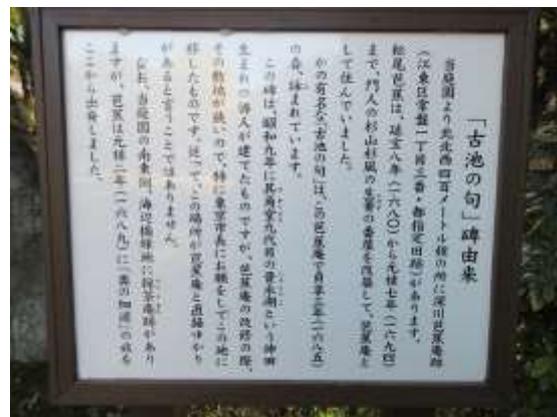
根府川石の磯渡り

奥に見えるのは「涼亭」 1909年、英国のキッチナー元帥を迎えるため岩崎家が建てたもの
現在は集会場として利用できる



紅葉の前の碑は

松尾芭蕉の「古池や～」の句碑



「当庭園の南東側に「採茶庵跡」がある」と書かれている

芭蕉はそこから「奥の細道」の旅に出発した

後にその場所を聞いて行って見た

花菖蒲園



枯滝



紀州青石
石仏群



説明文

石仏の左は転用石の石垣か



多くの鴨が翼を休めている

池に生える松



奥に見えるのが富士山を真似たもの



ツツジなどを植えて富士にたなびく雲を表現していた
紅葉がキレイだ



池に映る松
佐渡の赤玉石



水鉢



新津御影石
大正記念館



池を見ながら蕎麦をいただく

煎茶がついているので、抹茶は遠慮した



わかめや魚肉練製品を使った海鮮蕎麦

水鉢

石に響いていい音が聞こえる



大和御影石

ススキ



大通りに戻り、道沿いに門前仲町方面に進む
右側に



ここが「採茶庵跡」

「奥の細道」に旅立つ芭蕉の旅姿

芭蕉 46 歳



説明文

おくの細道 50 句

✕ ▲ 旅と句：... basho-bp.jp

俳聖 松尾芭蕉翁

English Page

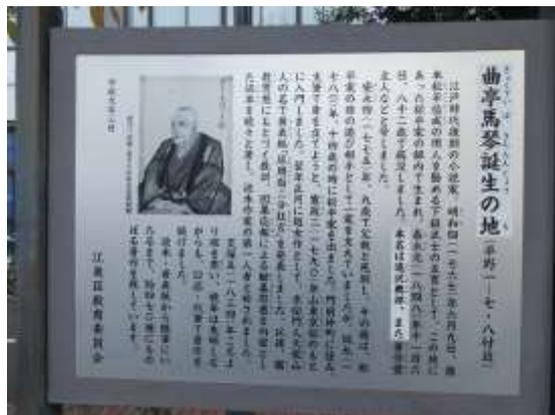
問い合わせ
奥の細道
芭蕉翁足跡会

おののほそ道 (50句)

足跡 (芭蕉の行程全体図) | 野ざらし紀行 (43句) | 雁島紀行 (7句)
家の小文 (53句) | 更科紀行 (11句) | おくのほそ道 (50句)

元禄2年 (1689) 3月27日~9月6日 芭蕉46歳

曲亭馬琴誕生の地



江戸時代の小説家

和菓子の「伊勢屋」さん



おもしろい品揃え

下段に生菓子、上段におにぎりといなり寿司

この売り方は前からやっているという

どれも「ハンディーフーズ」で片手でも食べられる

豆大福といもようかんを購入



深川江戸資料館案内図

「深川江戸資料館」は、2022年7月31日まで改修のため閉館
ぎりぎりまで訪問することができた



今回は、「六義園(ろくぎえん)庭園」(岩崎家駒込別邸)と「東洋文庫」を紹介します

岩崎家駒込別邸「六義園」

JR駒込駅下車

岩崎家によって修復された江戸の銘庭園



こまごめ橋を渡る

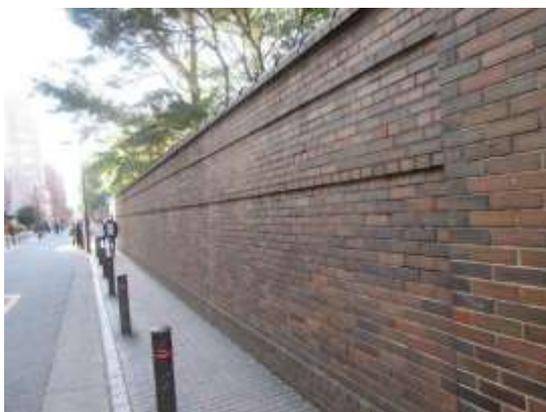
ここは裏口で立入禁止



六義園の案内

レンガの塀

当時のレンガが一部残されている



説明文

右と左ではレンガが違う

六義園

六義園とは中国の詩の分類法



説明文

柳沢吉保が五代将軍徳川綱吉より拝領した地に7年かけ1702年に完成させた

明治初期岩崎家が購入し、彌太郎、彌之助が修復

1938年、長男久彌により東京市寄付された

案内図



パンフレット



池を中心に回遊式庭園

1905 年秋、日露戦争の勝利を祝い、2 日間に渡り彌之助と久彌が海軍将兵 6 千名を招待した

紅葉がキレイだ



こんな道を進む

茶室「心泉亭」



床の間には掛け軸と茶わん

抹茶茶碗

どれだけ価値があるのか分からない



外の景色 こんな景色を見ながらお茶を嗜んでいた



茶室側 千鳥橋



水分石

つつじ茶屋



吹上浜、吹上松の説明
茶室



庭を眺めて

菓子はゆず風味の練り切り
この茶の流儀は「表千家」か



椀内に三日月が見える

石橋



この道は一方通行

藤代峠

小高い丘に登る



狭いスペースに多くの人

藤代峠からの景色

東京のど真ん中にこんな庭園が



池の堤防

紅葉



再び茶店に

こんにやく田楽と煎茶をいただく

これが素朴でいい 紅葉も添えてくれた



竹林を見て東洋文庫へ向かう

案内版

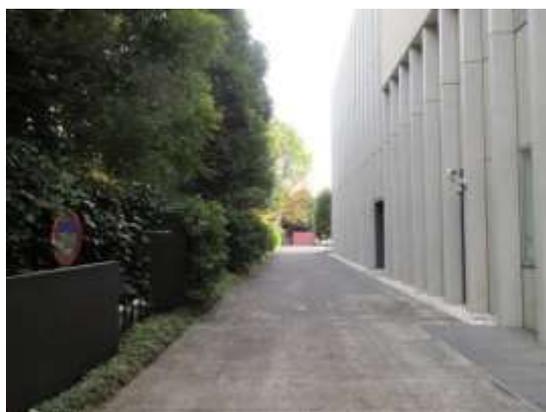
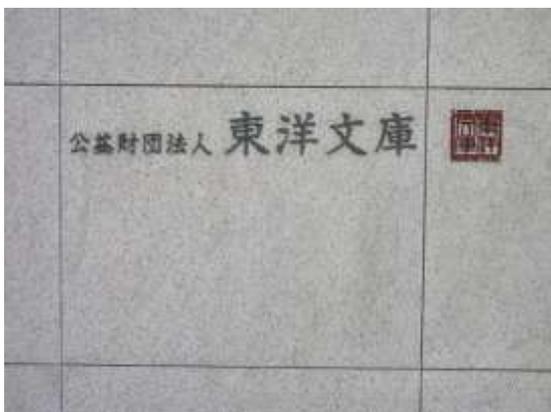


東洋文庫

東洋文庫とは

岩崎久彌(三代目社長)が、中華民国総統府顧問G.E.モリソン氏の蔵書「モリソン文庫」を購入
1924年設立した東洋学研究に供するための専門図書館

東洋学分野では世界5指に数えられる



脇の道を進むと

左には世界各国の格言が石に刻まれている



カフェがあるオリエントカフェ

子会社であった小岩井農場が経営



ランチメニュー パスタコースを注文
落ち着いた店内



テラス席で
鶏と野菜のスープと野菜サラダ



野菜は丁寧にダイスカット、鶏肉のミンチ
リーフサラダ



からすみとじゃこのパスタ

トマトともよく合う



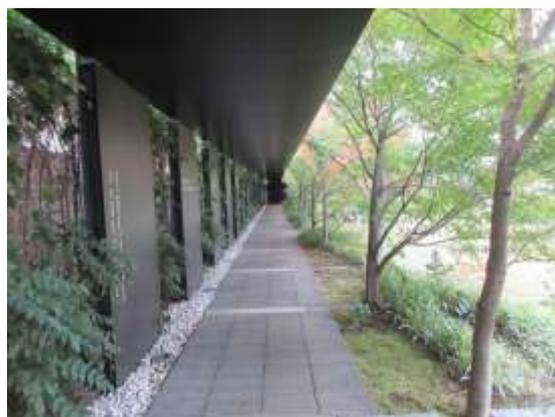
デザートとコーヒーを追加



小岩井農場のケーキとアイスクリーム

ディナーメニューも見せてもらう

また来ようと思っている



回遊式になっているため今度はここを進む

東洋文庫のショップ

2階からが東洋文庫の図書室



購入図書

知恵の小道をまとめたもの

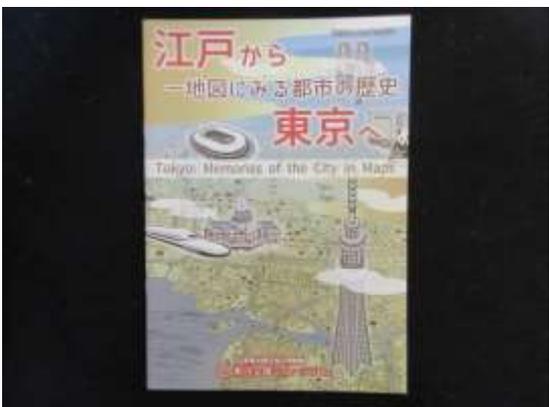
東洋文庫名品展



岩崎文庫

江戸から東京

これが一番おもしろい



気になっていたこと

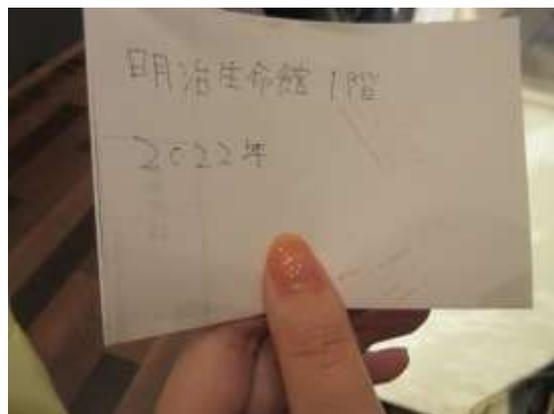
岩崎家が所有するなつめ「付藻、九十九(つくも)茄子」

ドラマ「麒麟がくる」で、松永久秀が織田信長に与えた場面があった

堺の貿易商⇒久秀⇒信長⇒秀吉⇒家康へと渡った九十九茄子

家康は大阪城の焼け跡からその欠片を拾わせ、うるしで継いで復元させたと言われている

岩崎弥太郎の「九十九商会」から、「つくも茄子」の収集したのであろう



「いつ展示されるのか？」と聞いてみると

「2022年に明治生命館1階に資料館がオープン予定がある」とのこと

そこで展示される可能性があるという

メモをくれた

次回は岩崎家国分寺別邸「殿ヶ谷戸庭園」を特集します

庭園周りはまだ続きます

岩崎家別邸最終編

岩崎家国分寺別邸「殿ヶ谷戸庭園(とのがやとていえん)」へ向かう

JR 国分寺駅から歩いてすぐ



岩崎家国分寺別邸「殿ヶ谷戸庭園」

三菱合資会社の社員で、後に南満州鉄道副総裁から貴族議員になった「江口定條(さだえ)」は、1913年この地に別荘を構え「随宜園(ずいぎえん)」と名づけた

1929年、岩崎彦彌太(彌太郎の孫で五代目候補であったが財閥解体で実現しなかった)が購入
昭和49年東京都が買収



パンフレット 武蔵野段丘をうまく使った高低のある庭園



こも紅葉がキレイだ

三福団子

「花より団子」ならぬ「紅葉より団子」



こんがりとおおいそうに焼けている

注文があれば串の部分をハサミで切って提供

おすすめの「黄粉黒みつ団子」と「甘酒」

両方甘くてバランスが悪い これは違う



醤油団子を追加注文



これこれ

庭園内



紅葉がキレイだ
色の濃い紅葉



竹林 左は溶岩
こんな道を進むと



下り坂を下るといきなりこの景色



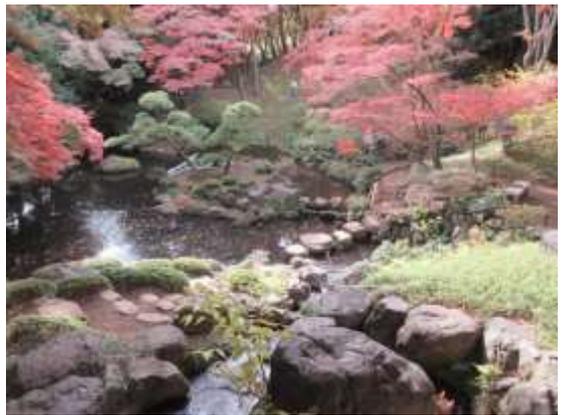
次郎弁天池
丘の上に建物が見える



右の脚立が興醒め
紅葉亭



上からの景色



小島



湧き水も
紅葉亭



距離を保とう
南天



白山茶花

鳩が餌を食べている
真剣過ぎて気づかない



本館 内部



ミニチュア庭園



今が旬の草花



都内に残る岩崎家の主な庭園跡を4カ所紹介した
 まだ7カ所の庭園が残っているのです

江戸には大きな藩の屋敷があったが

江戸時代末期、全国の藩は財政困難に陥り、参勤交代が廃止された

その後明治政府になり、旧藩の江戸屋敷が売りに出されたり、放棄され荒廃していった

その跡地を岩崎家や他の財閥が買取り、建物を建てたり改修を行った

「なぜ、岩崎家は別邸をすべて失ったのか？」



それはGHQと政府の「財閥解体」「華族廃止」「財産税」「農地改革」の政策によるものだ
 「財閥解体」、1945年～1952年にかけて財閥が解体され、4大財閥を中心に取締役、監査役は産業界から追放された
 三菱4代目社長の「小彌太」はそれに反対したが、45年12月2日にこの世を去り、3代目社長の久彌が引き継ぐ

「華族制度廃止」、1884年、5摂家(公、候、伯、子、男)に爵位が与えられた
 最高位の公爵は徳川家、島津家(2人)、毛利家(4人)と薩長の思うままとなる
 伯爵は、伊藤博文、山縣有朋、黒田清隆、松方正義、井上薫、西郷従道、大山巖なども薩長で占めた

三菱、三井は男爵であった
 1948年、日本国憲法制定のもとに「華族制度廃止」された
 それにより華族は没落の一途をたどる

「渋沢栄一」は「子爵」であったが、その財産を引き継いだ孫の「敬三（元日銀総裁、元大蔵大臣）」も没落し、

最後は四畳半暮らしであったという

本人曰く「笑いながら 没落して行く」であった

「財産税」、1947 年、GHQ と政府は財政の行き詰まりを打開するため「財産税」を導入

10 万円（現在の 5000 万円）以上の財産を保有する個人に課せられた

10 万円を超える金額の 5%、100 万円は 70%、1500 万は 90%

大富豪には破格の税金がかけられた

現金で払うのか、物納か、利息を払い延納するかを選択であった

「農地改革」、1947 年、GHQ と日本政府により、小作制度が廃止され、政府が大地主の土地を安く買上げ小作人に分割した

それにより、豪農はなくなり土地は切り刻まれ小農となる

大規模農業が出来なくなった

以上のことから、戦後の経済的豊かな者は一掃され、みんな貧乏になった

しかし、渋沢の進めた合本（日本型資本主義）はその後発展を遂げた

2022 年度版「長者番付」

ソフトバンク「孫正義氏」、ファーストリテーリング「柳井正氏」など創業者オーナー企業が上位を占める

孫さんと「お婆さんのリヤカーの話」には涙がでた

柳井さんもお父さんの紳士服店を引き継ぎ事業を発展させた

頑張った人が利益を得るのは当たり前のことだ

最新“長者番付”トップ100 1位・孫氏4.9兆円、2位・柳井氏2.4兆円

370

12/26(日) 7:00 配信



マネーポストWEB



創業者がリスクを背負って起業して、一代で会社を成長させて、株式の含み益を得るのは...
もっと見る

2022年版「長者番付」トップ1～10

順位	大株主名(年齢)	保有金額	所属企業	出身地/母校
1	 孫正義 (64)	4.9兆円	ソフトバンクグループ社長	佐賀県 カリフォルニア大学 バークレー校
2	 柳井正 (72)	2.4兆円	ファーストリテイリング社長	山口県 早稲田大学
3	 滝崎武光 (76)	8958億円	キーエンス名誉会長	兵庫県 尼崎工業高校
4	 永守重信 (77)	7507億円	日本電産会長	京都府 慶応義塾大学 経済学部(1991)
5	 柳井一海 (47)	5283億円	ファーストリテイリング取締役	— ボストン大学
6	 柳井康治 (44)	5283億円	ファーストリテイリング取締役	— 横浜市立大学
7	 柳井照代 (73)	2571億円	ファーストリテイリング、柳井正社長の妻	大阪府 —
8	 山田進太郎 (44)	2419億円	メルカリ社長	愛知県 早稲田大学
9	 三木谷浩史 (56)	2220億円	楽天グループ社長	兵庫県 ハーバード大学 経営大学院
10	 谷村格 (56)	2077億円	エムスリー社長	— 国際基督教大学

2022年版「長者番付」ランキング（トップ1～10）

イギリスの元首相であったマーガレット・サッチャー氏の発言が一時間問題になった

「金持ちを急に貧乏にしても、貧乏人が金持ちにはなりません」

日本の総理大臣がもし言ったら大変なことになる

そんなことはない！！

UK と日本とは違うからだ

UK には華族制度があり、2020 年現在総計 814 家の世襲貴族が存在している

UK の人口の 1%の貴族と企業が、国土の半分を所有しているという

日本とUKどちらが恵まれているか考えて欲しい

日本の方がチャンスがある